

平成 29 年度国立市総合防災訓練実施結果

- 1 実施日時 平成 29 年 8 月 27 日（日） 午前 8 時 45 分～午前 11 時 00 分
- 2 訓練会場 谷保第三公園、下谷保地域防災センター、第二小学校
※下谷保地域防災センター、第二小学校は地域自治会中心の訓練
- 3 参加者数 谷保第三公園：660 名 下谷保地域防災センター：88 名
第二小学校：59 名 合計：807 名
- 4 訓練内容 谷保第三公園実施内容：
 - 各種実働、体験型訓練
 - ①初期消火訓練
 - ②煙体験
 - ③起震車体験
 - ④応急救護訓練（三角巾・AED）
 - ⑤炊き出し訓練
 - ⑥広報訓練（防災行政無線、広報車両）
 - ⑦車いす体験
 - ⑧スタンドパイプを使用した応急給水訓練
 - ⑨高齢者体験、手話体験
 - ⑩はしご車搭乗体験
 - 各種広報展示、体験
 - ⑪立川消防署ブース ）住宅用火災警報器、家具転倒防止器具広報
 - ⑫NTT ブース ）災害用伝言ダイヤル（171）体験
 - ⑬東京ガスブース ）マイコンメーター復旧方法体験
 - ⑭陸上自衛隊ブース ）災害活動車両等の展示（炊事車等）
 - ⑮東京都水道局ブース）災害時給水拠点、応急給水広報
 - ⑯立川警察署ブース ）警察署によるロープ結索指導
 - ⑰(株)セキドブース ）災害時のドローンの活動広報
 - ⑱(株)消防弘済会ブース）業者による防災グッズ展示広報
 - 関係機関との連携訓練
 - ⑲情報伝達訓練
（荏崎市、(株)ジェイコム多摩、国立アマチュア無線クラブ）
 - ⑳関係機関による災害救助活動訓練
（東京消防庁災害時支援ボランティア、(株)セキド、国立市建設業協会、国立市消防団、多摩交通(有)、銀星交通(有)、立川消防少年団、富士見台二丁目自治会防災部）

5 総括 今回の総合防災訓練は、
「市民、市職員の防災行動力を高め、関係機関との連携を強化することにより、
国立市全体の災害対応力の向上を図る」を目的に各種訓練を実施した。

まず、市民及び市職員の防災行動力の向上については、体験型訓練及び各種
展示ブースの見学を18設け、災害発生時の行動と事前対策を学んだ。

今年度は、要配慮者の防災力向上を目的に、国立市社会福祉協議会及び市内
手話サークル連絡会の協力を得て、高齢者体験、手話体験を実施した。手話体
験については、聴覚障害者本人が防災訓練に参加する（防災について考える）
きっかけとなり、例年より多くの聴覚障害者の参加及び自助共助の向上につな
がった。

また、市職員、自主防災組織に対しては、市内各避難所に配備した応急給水
資器材を用いた応急給水訓練を実施した。東京都水道局及び立川消防署の指導
により、スタンドパイプを使用した消火栓からの放水、飲料水確保について学
んだ。例年実施する炊き出し訓練についても、陸上自衛隊第一後方支援連隊に
よるカレーの炊き出しを初めて実施した。

次に、関係機関との連携体制の強化については、先述のほか、各種関係機関の
広報展示、救助活動訓練を実施した。

救助活動訓練では、昨年度災害応援協定を締結した(株)セキド、今年度災害応
援協定を締結した多摩交通(有)及び銀星交通(有)市内事業者と、国立市建設業協会、
東京消防庁災害時支援ボランティア、国立市消防団、市内自主防災組織（富士
見台二丁目自治会防災部）、立川消防少年団が連携し、倒壊家屋からの救助活
動、出火への一斉放水を実施した。また、昨年度と同様韮崎市及びジェイコム
多摩と情報伝達訓練を実施し、災害時の物資や人員派遣に関する要請方法、災
害情報の伝達方法について再確認を行った。

なお、訓練の広報は下記のとおり実施した。

市報 8/20号掲載

訓練チラシの配布（小中学校生徒分、市内自治会等）約 6,700 枚

市内掲示板へのポスター掲示 31箇所

国立市ホームページ

国立メール配信（8/18、8/25）

国立市 LINE 配信（8/25）

広報車両（訓練当日朝）

市内防災行政無線放送（訓練当日朝）

6 訓練参加者・参加団体からの感想

(1) 良かった点

- ・防災について考える良い機会になった。
- ・普段は防災について触れることがないので、このような機会があると嬉しい。

(2) 課題事項

<会場全体について>

- ・一般参加者が少なく、特に若い人が少なかった。災害時に主力となる若い人へのPRを市に要望する。
- ・災害救助活動訓練のための広いオープンスペースを確保しているため、閑散としている印象を受けた。会場レイアウトを工夫することによって盛挙感が出るので、検討してほしい。

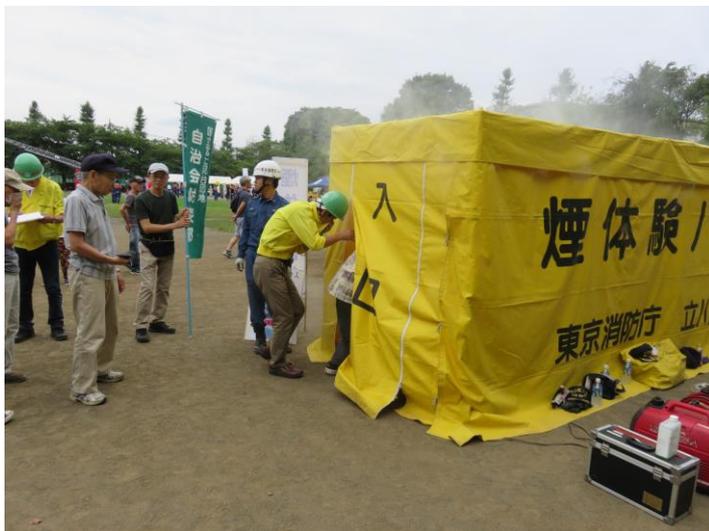
<受付・体験・展示ブースについて>

- ・受付の参加者名簿に障害種別の欄がなかった。あった方が良いと思う。
- ・受付に筆談用具がなかった。必ず設置してほしい。
- ・起震車に行列ができていたので、並んでいる人に声をかけるなど、展示・体験ブースからの積極的な呼び込みが必要と考える。
- ・展示企業には熱意を感じられたが、商品説明の配布物の部数が少なかった。

訓練写真（谷保第三公園）



初期消火訓練：本物の炎に向かって水消火器を噴出、使用方法を学んだ。



煙体験



起震車体験：体験待ちの人が並ぶ



応急救護訓練：心肺蘇生、AED 訓練



赤十字奉仕団による包帯法訓練



炊き出し訓練：自衛隊の炊事車を使用し会場でカレーを作成、訓練講評後配布した。



配布は赤十字奉仕団、市職員が実施

車いす訓練



応急給水訓練：スタンドパイプによる放水

消火栓から飲料水を確保する



高齢者体験、手話体験



はしご車搭乗体験



関係機関による展示：東京ガス



立川警察署（ロープ結索）



(株)セキド



消防署の展示では東京消防庁マスコット「キュータ」も参加した。



救助活動訓練：要救助者の発見



状況把握のためドローン出動
撮影映像は会場内モニターで見ることができた



建設業協会によるがれきの撤去



消防団によるがれきの撤去



協定業者による救助者の搬送



一斉放水
(消防団、自主防災組織、立川消防少年団)